

大学院等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 国 際 医 療 福 祉 大 学

(2) 大学院名

国 際 医 療 福 祉 大 学 大 学 院

(3) 大学本部の位置

栃木県大田原市北金丸2600番1

(4) 管理運営組織

職 名	認 可 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タカギ クニノリ) 高 木 邦 格 (平成6年12月)		
学 長	(タニ シュウイチ) 谷 修 一 (平成13年10月)		
研究科長	(カイハラ シゲコト) 開 原 成 允 (平成15年4月)		

(注) 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄にその理由と報告年度(丸数字)を記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の研究科・専攻・課程ごとに記入してください。
 2 様式は、平成17年度開設の場合（平成19年度までの3年間）で示していますが、開設年度に合わせて作成してください。また、修業年限が異なる場合には、適宜、欄を調整して作成してください。

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	認可時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医療福祉学研究科 臨床心理学専攻(修士課程) 修士(臨床心理学)	2年	15人	30人	基礎となる学部名等 なし(独立専攻)

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員超過率	備考
		人	人	人		
A 入学定員	() 15	()	()	1.2		
志願者数	(15) 21	()	()			
受験者数	(14) 20	()	()			
合格者数	(14) 20	()	()			
B 入学者数	(12) 18	()	()			
入学定員超過率 B/A	(-) 1.2	()	()			

- (注) 1 4月20日現在で記入してください。
 2 ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 3 「平均入学定員超過率」欄には、開設年度から提出年度までの各年度の入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 4 開設2年目以降は、前年度までの記入を残したまま、当該年度に記入してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備考
		[]	[]	[]	
1年次	[] 18	[]	[]		
2年次	[]	[]	[]		
3年次	[]	[]	[]		
計	[] 18	[]	[]		

- (注) 1 4月20日現在で記入してください。
 2 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。
 3 開設2年目以降は、前年度までの記入を残したまま、当該年度に記入してください。

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成19年度	人 [0] 0	0%	左記のうち、 平成19年度入学者 0人
	(主な理由)		
平成20年度	人 []	%	左記のうち、 平成19年度入学者 人 平成20年度入学者 人
	(主な理由)		

- (注) 1 各年度の入学者ごとに退学者数(各報告年度4月20日現在で、前年度までの入学者について)を記入してください。
- 2 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。
- 3 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 4 「主な理由」欄は、下の項目を参考に記入してください。
- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医療福祉学研究科 臨床心理学専攻（修士課程）>

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
保健医療福祉研究法序論	1・2			2						
保健医療福祉研究法概論	1・2			2						
保健医療福祉研究法Ⅰ (病理)	1・2			1						
保健医療福祉研究法Ⅱ (心理)	1・2			2						
保健医療福祉研究法Ⅲ (社会調査)	1・2			2						
保健医療福祉研究法Ⅳa (統計学)	1・2			2						
保健医療福祉研究法Ⅳb (統計学入門)	1・2			2						
保健医療福祉研究法Ⅳc (統計解析入門)	1・2			2						
保健医療福祉研究法Ⅳd (統計解析演習)	1・2			2						
保健医療福祉研究法Ⅴ (情報)	1・2			2						
教育方法特論	1・2			2						
保健医療福祉学特論	1・2			2						
保健医療福祉政策特論	1・2			2						
国際保健医療福祉特論	1・2			2						
医療福祉倫理特論	1・2			2						
医療福祉関連法律論										
医療関連法律論	1・2			2						
医療福祉法制研究	1・2			2						
医療福祉情報特論	1・2			2						
医療福祉評価特論	1・2			2						
医療福祉経済特論	1・2			2						
人体機能構造学特論	1・2			2						
臨床遺伝学特論	1・2			2						
知的障害学特論	1・2			2						
精神保健・社会精神医学 特論	1・2			2						
精神神経障害学特論	1・2			2						
スポーツ医学特論	1・2			2						
リハビリテーション特論	1・2			2						
福祉住環境概論	1・2			2						
疫学特論	1・2			2						
人口論特論	1・2			2						
社会福祉学特論	1・2			2						

社会保障特論	1・2			2			
自閉症児者援助特論	1・2			2			
医療コミュニケーション論	1・2			2			
臨床試験概論Ⅰ	1・2			2			
臨床試験概論Ⅱ	1・2			2			
臨床試験概論Ⅲ	1・2			2			
臨床試験概論Ⅳ	1・2			2			
医療経営特論	1・2			2			
福祉経営特論	1・2			2			
医療福祉施設経営事例研究 (複合体論を含む)	1・2			2			
医療施設の財務	1・2			2			
福祉施設の会計	1・2			2			
電子カルテ入門から データの活用まで	1・2			2			
当事者団体(患者会)活動 ボランティア論	1・2			1			
特別講義Ⅰ(呼吸理学療法)	1・2			1			
特別講義Ⅱ(生きがい論)	1・2			2			
臨床心理学特論Ⅰ	1	2			1		
臨床心理学特論Ⅱ	1	2			1		
臨床心理面接特論Ⅰ	1	2			1		
臨床心理面接特論Ⅱ	1	2			1		
臨床心理査定演習	1・2						
	2	4		1	2	1	
臨床心理基礎実習	1	2		1	2	1	0
臨床心理実習	2	2		2	1	1	
臨床心理学特別研究	1~2	4		4	3	1	

基礎心理学特論 I	1・2	2		1	1 0
基礎心理学特論 II	1・2	2			1
応用臨床心理学特論	1・2 未開講	2	1		
精神分析特論					
力動精神分析特論	1・2	2	1		
心理学研究法特論 I					0
心理学研究法特論	1・2		1		1
心理学研究法特論 II	1・2	2			
臨床心理学研究法特論	1・2	2		1	1
発達心理学特論	1・2	2		1	1 0
大脳生理学特論	1・2	2	1		
教育心理学特論	1・2	2		1	1 0
社会心理学特論	1・2	2			
家族心理学特論	1・2	2	1		
犯罪心理学特論	1・2	2		1	
精神医学特論	1・2	2	1		
心身医学特論	1・2	2			
老年心理学特論	1・2	2	1		
障害者（児）心理学特論	1・2	2			1
精神薬理学特論	1・2	2	1		

心理療法特論	1・2	2	1					
学校臨床心理学特論	1・2	2	1					
投影法特論	1・2	2		1				

(注) 平成20年度から他専攻の履修が許可された科目を履修して単位を修得した場合は、本専攻の自由科目として単位を認める。⑱

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
8科目	18科目	5科目	31科目	8科目	21科目	45科目	74科目	主に、自由科目として研究科共通科目を履修可能とする変更を行う。
				[]	[3]	[40]	[43]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	応用臨床心理学特論	2	1・2	選択	開設年度は1年次生だけで、当該科目が応用的科目のため、開設2年目から開講することとしたため。

(4) 廃止科目
なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1					
2					
3					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

開設年度は1年次生しか在籍していないため、臨床心理学の応用的な科目である「応用臨床心理学特論」を未開講としたことは、特に支障はないと考える。学生への周知方法については、『履修の手引き』に今年度及び来年度のすべての授業科目の開講予定が記載されており、学生は今年度は「応用臨床心理学特論」は開講されないが、来年度は開講されることを知ることができる。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.03$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 授業科目すべてについて記入してください。なお、授業科目は当該調査対象研究科・専攻・課程ごとに記入してください。
- 3 認可時の計画を上記2による記入し、変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度を(丸数字)を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、2年目以降に更なる変更があった場合には、前年度の朱書きを黒字に戻した上で、当該年度の変更を朱書きで見え消し修正してください。
また、授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
保健医療学部								栃木県 大田原市 北金丸 2600番1	
看護学科	4	100		400	学士 (看護学)	1.28	平成7 年度		
理学療法学科	4	80		320	学士 (理学療法学)	1.27	平成7 年度		
作業療法学科	4	80		320	学士 (作業療法学)	1.26	平成7 年度		
言語聴覚学科	4	80		320	学士 (言語聴覚学)	1.25	平成7 年度		
視機能療法学科	4	40		160	学士 (視機能療法学)	1.24	平成14 年度		
放射線・情報科学科	4	100		400	学士 (放射線・情報科学)	1.27	平成7 年度		
医療福祉学部									
医療経営管理学科	4	100		400	学士 (医療経営管理学)	1.16	平成9 年度		
医療福祉学科	4	140		560	学士 (医療福祉学)	1.03	平成9 年度		
薬学部								福岡県 大川市 榎津字中曾利 137番1	
薬学科	4	150		150	学士 (薬学)	1.27	平成17 年度		
薬学科	6	180		1080	学士 (薬学)	1.02	平成18 年度		
福岡リハビリテーション学部									
理学療法学科	4	80		320	学士 (理学療法学)	1.27	平成17 年度		
作業療法学科	4	40		160	学士 (作業療法学)	1.27	平成17 年度		
言語聴覚学科	4	40		160	学士 (言語聴覚学)	1.02	平成19 年度		

既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地		
小田原保健医療学部										
看護学科	4	50		200	学士 (看護学)	1.19	平成18年度	神奈川県 小田原市 城山一丁目 2番25号		
理学療法学科	4	40		160	学士 (理学療法学)	1.27	平成18年度			
作業療法学科	4	40		160	学士 (作業療法学)	1.27	平成18年度			
大学院 医療福祉学研究科										
保健医療学専攻 (修士課程)	2	69		138	修士 (保健医療学) 修士 (看護学)	1.73	平成11年度	栃木県 大田原市 北金丸 2600番1	平成19年度から新たに、修士(看護学)の学位を設けた。⑩	
医療福祉経営専攻 (修士課程)	2	25		50	修士 (医療福祉経営) 修士 (医療福祉)	1.61	平成13年度			
臨床心理学専攻 (修士課程)	2	15		30	修士 (臨床心理学)	1.2	平成19年度	東京都港区 南青山一丁目 3番3号		
保健医療学専攻 (博士課程)	3	30		90	博士 (保健医療学) 博士 (看護学) 博士 (医療福祉経営学) 博士 (医療福祉学)	1.61	平成13年度	栃木県 大田原市 北金丸 2600番1	平成19年度から新たに、博士(看護学)の学位を設けた。⑩	

(注) 1 学校法人又は地方公共団体(公立大学法人)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

2 認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、各修業年限に相当する期間(学年進行中の場合は、設置後経過した年数分)における入学定員超過率の平均を4月20日現在で記入してください。

入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

なお、学生募集停止中の学部等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成〇年度から学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成18年 11月30日)	・保健学部放射線・情報科学 科の入学定員の超過の是正に 努めること。	・平成19年度保健学部放射 線・情報科学科の入学定員超 過率は、1.25に是正した。他 の学部学科の平均入学定員超 過率も1.3倍未満となっている。	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (○年○月○日)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (○年○月○日)	該当なし	該当なし	該当なし

(注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。

2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。

3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、4月20日現在で記入してください。

4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<医療福祉学研究科 臨床心理学専攻（修士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

該当事項なし

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(2) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>別紙のとおり</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・平成17年7月 <p>（現在実施している認証評価の自己点検評価の報告書を平成20年5月公表予定）</p> <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検・評価報告書を刊行し、ホームページで公開し、関係省庁、大学、実習施設当へに各1冊を配布予定・ホームページ上に公開 <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成19年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受ける。

別紙

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1 他分野の専門職と協働して医療福祉に貢献できる高度専門職業人としての臨床心理士の養成

平成 19 年 4 月に開設した本専攻は、入学定員 15 名のところ、18 名の入学者を迎えた。うち、12 名は社会人の入学者であり、この点は本大学院の特徴を示している。

医療福祉学研究科にある臨床心理学専攻として、既設の保健医療学専攻、医療福祉経営専攻と共通する科目も設けており、この共通科目は、今後一層拡大する予定としている。入学者の中には、医療系出身の学生や社会経験に富んだ学生が見られ、「他分野の専門職と協働して医療福祉に貢献できる高度専門職業人としての臨床心理士の養成」という点で期待できる。

2 実習等の授業、研究指導での附属病院、関連病院等の活用

平成 17 年 3 月に旧東京専売病院を承継し、附属三田病院として東京地区における臨床実習施設の充実を図るとともに、平成 19 年 2 月には関連病院であった国際医療福祉病院を附属病院として承継（国際医療福祉大学病院）し、更なる臨床実習施設の充実を図った。

3 教育課程編成の考え方

教育課程は、認可後、授業科目を 3 科目増設し、専任教員も 3 名増員するなど、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的展開の強化）に資するよう充実を図った。特に医療福祉学研究科の臨床心理学専攻として、医学系の科目、研究法、家族心理学の科目の充実を図り、設置の趣旨・目的を円滑に達成できるよう配慮した。

4 学内実習施設の整備

当初の計画どおり、面接室 3、プレイルーム 2、研修員室等を備えた学内実習施設を整備した。学内実習施設の名称を「国際医療福祉大学大学院青山心理相談室」とし、大学院学則に附属施設の章を設け、青山心理相談室について規定したほか、「国際医療福祉大学大学院青山心理相談室規程」を作成し、その運営の適正を図った。また、一般市民を対象とした心理相談を行うため、パンフレットを作成した。

5 入学者選抜

入学者選抜にあたり、入試科目には、心理系の学部学科卒業者には、「英語」「専門科目」「面接」とし、心理系以外の学部学科卒業者及び社会人には「英語」「小論文」「面接」とした。開設初年度の入試ということもあり、2 月と 3 月に計 2 回の入試を行い、既に記したように 12 名の社会人を含む 18 名の入学者を迎えた。

以上